

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年4月21日 (2016.4.21)

【公表番号】特表2015-517012(P2015-517012A)

【公表日】平成27年6月18日 (2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2015-039

【出願番号】特願2015-504641(P2015-504641)

【国際特許分類】

C 0 8 G 75/04 (2016.01)

C 0 8 L 81/02 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/26 (2006.01)

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 75/04

C 0 8 L 81/02

C 0 8 L 63/00 Z

C 0 8 K 3/26

C 0 9 K 3/10 F

C 0 9 K 3/10 L

C 0 9 K 3/10 Z

C 0 9 K 3/10 Q

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月29日 (2016.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 5 】

本開示の様々な修正及び変更は、本開示の範囲及び原理から逸脱することなく当業者には明白であり、また、本開示は、本明細書に記載した例示的な実施形態に不当に制限されるものではないと理解すべきである。本発明の実施態様の一部を以下の項目 [1] - [2 6] に記載する。

[1]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

a) 少なくとも 1 つのジチオールモノマー、

b) 少なくとも 1 つのジエンモノマー、

c) 少なくとも 3 つのエテニル基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び

d) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。

[2]

e) 少なくとも 1 つのエポキシ樹脂を更に含む、項目 1 に記載の組成物。

[3]

前記少なくとも 1 つの多官能性モノマーが 3 つのエテニル基を有する、項目 1 又は 2 のいずれかに記載の組成物。

[4]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

f) 少なくとも 1 つのジチオールモノマー、

g) 少なくとも1つのジエンモノマー、

h) 少なくとも3つのチオール基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び

i) 少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。

[5]

j) 少なくとも1つのエポキシ樹脂を更に含む、項目4に記載の組成物。

[6]

前記少なくとも1つの多官能性モノマーが3つのチオール基を有する、項目4又は5のいずれかに記載の組成物。

[7]

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

k) 少なくとも1つのチオール末端ポリチオエーテルポリマー、

l) 少なくとも3つのエテニル基を有する少なくとも1つの多官能性モノマー、及び

m) 少なくとも1つの光開始剤、を含む、組成物。

[8]

前記少なくとも1つのチオール末端ポリチオエーテルポリマーがペンダント基としてヒドロキシ基を含む、項目7に記載の組成物。

[9]

前記少なくとも1つの多官能性モノマーが3つのエテニル基を有する、項目7又は8のいずれかに記載の組成物。

[10]

n) 少なくとも1つの充填剤を更に含む、項目1～9のいずれかに記載の組成物。

[11]

o) 少なくとも1つのナノ粒子充填剤を更に含む、項目1～10のいずれかに記載の組成物。

[12]

p) 炭酸カルシウムを更に含む、項目1～11のいずれかに記載の組成物。

[13]

q) 炭酸カルシウムナノ粒子を更に含む、項目1～12のいずれかに記載の組成物。

[14]

硬化の際に視覚的に色が変化する、項目1～13のいずれかに記載の組成物。

[15]

化学線光源によって硬化可能である、項目1～14のいずれかに記載の組成物。

[16]

青色光線源によって硬化可能である、項目1～15のいずれかに記載の組成物。

[17]

UV光線源によって硬化可能である、項目1～16のいずれかに記載の組成物。

[18]

項目1～17のいずれかに記載の組成物を含むシーラント。

[19]

項目1～17のいずれかに記載の組成物のいずれかの放射線硬化により得られる、ポリチオエーテルポリマー。

[20]

- 55 未満のT_gを有する、項目19に記載のポリチオエーテルポリマー。

[21]

自動車技術者協会(SAE)国際規格AS5127/1に従って測定した体積膨潤が30%未満かつ重量増加が20%未満であることを特徴とする、高いジェット燃料耐性を呈する、項目19又は20のいずれかに記載のポリチオエーテルポリマー。

[22]

項目19～21のいずれかに記載のポリチオエーテルポリマーを含む、シール。

[23]

透明である、項目 18 に記載のシーラント。

[24]

半透明である、項目 18 に記載のシーラント。

[25]

透明である、項目 22 に記載のシール。

[26]

半透明である、項目 22 に記載のシール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- a) 少なくとも 1 つのジチオールモノマー、
- b) 少なくとも 1 つのジエンモノマー、
- c) 少なくとも 3 つのエテニル基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び
- d) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。

【請求項 2】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- f) 少なくとも 1 つのジチオールモノマー、
- g) 少なくとも 1 つのジエンモノマー、
- h) 少なくとも 3 つのチオール基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び
- i) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。

【請求項 3】

- j) 少なくとも 1 つのエポキシ樹脂を更に含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 4】

ポリチオエーテルポリマーに放射線硬化可能である組成物であって、

- k) 少なくとも 1 つのチオール末端ポリチオエーテルポリマー、
- l) 少なくとも 3 つのエテニル基を有する少なくとも 1 つの多官能性モノマー、及び
- m) 少なくとも 1 つの光開始剤、を含む、組成物。